

# 2009 春を呼ぶ女性のつどい 開く

九州地連 女性協議会



女性協議会



2009 春を呼ぶ女性のつどい  
民放労連九州地連女性協議会

参加者全員で記念撮影

九州地連女性協議会の春の学習会「2009春を呼ぶ女性のつどい」は2月14日(土)に福岡市で開催された。一、二単位から九州地連の役員もあわせて二八名が参加した。

冒頭、九州地連・高崎委員長から、ベアフープを求めていくことと非正規雇用の労働条件を引き上げていくことの二つの春闘方針が示され、構内で働く全ての労働者の安定した生活のため、ベアフープを強く求めていくことを女性協議会でも再確認した。

続く単組報告では、「6月に出席を要する女性が今年度いっぱい契約を切られる」という驚きの報告を受けた。そもそも何年にも渡って契約として働かせていたことが問題だが、同じ仕事をする職場の仲間であっても雇用形態が違えば「守られる人」と「守られない人」がいるという事実を突きつけられた。周りに与えた影響も小さくなく、正社員でなければ、結婚はできても妊娠・出産で仕事を辞めなければならないという印象を植えつけたのではないだろうか。事態の深刻さに、女性の働きがせられ

方について改めて考えさせられた。

また、女性正社員の採用問題では、いくつかの単組から十数年ぶりにアソウサ以外的一般総合職に採用があった。新入社員七名のうち三名が女性だが、明るい兆しをみえる報告もあった。しかし、女性の採用が何年もない単組もあり、女性の社員数は微減し(組合員数も)、社員数の男女差もますます広がりをみせ、このままでは女性の比率が一割を切ることも出てきそうだ。

一方で、嬉しいニュースもあった。ラインではない、担当部長というところが、サガテレビでは、四〇年目に初めて女性が昇格した。加えて、05年に有給になって初めての産休取得者も現れた。

午後からの講演には、昨

●女性協  
URL  
<http://www.minpororen.jp/women/index.html>

MIC(日本マスコミ文化情報労働組合)女性連絡会・春の学習会が2月12日の夜、東京都千代田区のあるところで開催された。学習会には一人の参加で、民放労連からも三人が参加して充実した会となった。

作家で東京家政大学人間文化研究所特任教授の落合

## 誠実に生きていけば… MIC女性連絡会春の学習会



落合さんが「生きづらさを変えよう」と題して講演。はじめに「母親を介護していた時、手入りが簡単なヘアスタイルと想った。この髪形にしたら、私は自分でこれを洗髪、パーマと言っています。怒りの髪型です」と自己紹介。今、起きている社会現象に怒り爆発という気持ちもあって

生きづらさを感じるためには？  
性的本音店「ミス・クレインハウス」も重要。自分の病状から生活にも関心をもち、現在はオーガニックレストランも開き、一〇〇人の女性スタッフが働いていいます。落合さんは「あえて険しい道を歩んだわけでは

いた。

講演の中で落合さんは、①性差別②人権差別③年齢差別④健康者中心主義と差別と闘うことの大切さを語った。

また、文化放送アナウンサーとして活躍していた頃、「フリン」杯の幸せという本を出版し、その印税を元に、子どもの本音店「クレインハウス」を開設し、現在は女性の本音店「ミス・クレインハウス」も重要。自分の病状から生活にも関心をもち、現在はオーガニックレストランも開き、一〇〇人の女性スタッフが働いていいます。落合さんは「あえて険しい道を歩んだわけでは

## 第46回全国女性のつどい in TOKYO

分科会、交流会などの準備を進めております。  
詳細は今しばらくお待ちください。

【日時】(予定) 5月30日(土)13時～  
31日(日)12時15分

【場所】 虎ノ門バスターナルホテル  
港区虎の門4-1-1

【記念講演】「選ぶ力・断る力」  
藤間 和代さん  
(経済評論家・公明党議員)

※なお、宿泊は各自でご手配ください。お申し込みの際は、交通費とバックなどでホテルは各自で自由に選んでいただく予定です。

<詳しくは労働本部まで…>  
tel. 03-3355-0461

